

誰もが輝く「未知のとくしま」創生プラン
徳島県男女共同参画基本計画（第4次）答申案【概要版】

1 改定の趣旨

現在の第3次計画（平成28年度～平成30年度）が、計画期間の最終年度を迎えたことから、これまでの成果と課題を踏まえながら、より実効性の高い計画に改定する。

2 計画の性格

- 「男女共同参画社会基本法」第14条及び「徳島県男女共同参画推進条例」第8条に基づく「基本計画」
- 「女性活躍推進法」第6条に基づく「都道府県推進計画」

3 計画期間

令和元年度から令和4年度までの4年間

4 計画の進捗管理

- 「徳島県男女共同参画会議」及び「働く女性応援ネットワーク会議」において、施策の効果を検証し、進捗状況について毎年公表を行う。
- 県の総合計画と計画期間を一致させることで、より効果的、効率的なPDCAサイクルを確立する。

計画の特徴

主 な 改 定 の 視 点	➢ 更なる女性活躍に向けた「人材の発掘・育成」「リカレント教育」の充実
	➢ 「働き方改革」の着実な推進による「多様で柔軟な働き方」の実現
	➢ SDGs（持続可能な開発目標）を視野に入れた施策の充実
	➢ ダイバーシティ実現を目指す「意識改革」の推進
	➢ 「貧困」や「暴力」など様々な困難から女性・若者等を守り支援する体制整備
	➢ 「防災活動」「エシカル消費」など様々な活動を通じた男女共同参画の推進

計 画 体 系	➢ 「基本方針」に基づく「主要課題」 9項目→ 12項目 (うち女性活躍推進法に基づく「推進計画」部分2項目→ 3項目)
	➢ 「成果目標」設定数 33 → 48に拡大

◆計画の体系

基本方針【3】		主要課題【12】		推進方策【35】	
I	あらゆる分野で女性が活躍できる社会づくり	推進計画※	1 女性の職業生活における活躍を推進するための支援	(1)	多様な就業ニーズを踏まえた雇用環境等の整備促進
				(2)	女性のキャリアアップや復職・再就職に対する支援、リカレント教育
				(3)	女性の起業・創業への支援
				(4)	女性の参画が少ない分野での活躍促進
(5)	女性の活躍状況の「見える化」の推進				
(6)	職場におけるハラスメントの防止対策の推進				
2 仕事と生活の調和を図るために必要な環境の整備	(1)		ワーク・ライフ・バランスの普及・促進		
	(2)		男性の家事・育児・介護等への参画・実践の促進		
	(3)		多様なライフスタイルに対応した子育てや介護の支援策の充実		
	(4)		ゆとりある子育て環境の創出による女性活躍の支援		
3 多様な働き方の創出による女性の活躍推進	(1)		テレワークの普及拡大など、多様で新しい働き方の創出		
	(2)		働き方改革の推進		
4 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大	(1)	政策・方針決定過程への女性の参画の促進			
	(2)	男女共同参画を推進するグローバル人材の養成			
II	安全・安心に暮らせる環境づくり	5 女性に対するあらゆる暴力の根絶	(1)	女性に対する暴力根絶のための基盤づくり	
			(2)	配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援	
			(3)	性犯罪・性暴力対策の推進・強化及び被害者支援	
			(4)	ストーカー行為等への対策の推進・強化	
			(5)	加害者の再犯防止に関する取組	
		6 生涯にわたる健康づくりへの支援	(1)	男女共同参画と医療・健康・スポーツ、ライフステージに応じた女性の健康保持	
			(2)	妊娠・出産等に関する健康支援	
		7 生活上の困難を抱える女性等への支援	(1)	ひとり親家庭等への支援	
(2)	若年者の妊娠等困難を抱える女性等への支援				
8 高齢者・障がい者・外国人等が安心して暮らせる環境の整備	(1)	高齢者・障がい者・外国人等が安心して暮らせる環境整備			
	(2)	多様な人権尊重			
III	互いに支え合う家庭・地域づくり	9 男女共同参画の推進に向けた意識啓発の推進	(1)	男女共同参画に関する広報・啓発の推進	
			(2)	男性にとっての男女共同参画の推進	
			(3)	総合相談体制の充実・強化	
		10 男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実	(1)	人権尊重と男女平等を推進する教育・学習の充実	
			(2)	子どもにとっての男女共同参画の推進	
		11 地域社会における男女共同参画の推進	(1)	環境保全への寄与	
			(2)	地方創生の推進と男女共同参画	
			(3)	地域における男女共同参画推進の基盤づくり	
12 男女共同参画の視点に立った防災・減災活動の推進	(1)	男女共同参画の視点に立った防災対策・減災対策			
	(2)	男女共同参画の視点に立った避難所運営等の確立			

総合的な推進体制の整備

- (1) 県の推進体制の充実
- (2) 男女共同参画交流センター「ときわプラザ」を核とした男女共同参画の推進
- (3) 県民、事業者、市町村、NPO等との連携
- (4) 施策に関する申出の処理の円滑化

※主要課題1, 2, 3については「女性活躍推進法」に基づく「推進計画」として位置づける。

成果目標一覧表

番号	指 標 名	現 況 値 (2017年)	目 標 値 (2022年)
主要課題1 女性の職業生活における活躍を推進するための支援【推進計画】			
1	(新)「女性活躍ワンストップサービスセンター(仮称)」の設置	—	設置
2	(新)「とくしまリカレント教育支援センター(仮称)」の設置	—	設置
3	(新)農業女子による新たなビジネスプラン作成数(累計)	18件	38件
4	「はぐくみ支援企業」認証事業所数(累計)	250事業所	350事業所
5	女性の再就職や就労を支援する講座等における就業率	32%	60%以上
6	女性の創業に対する事業計画等の認定件数(累計)	18件	109件
主要課題2 仕事と生活の調和を図るために必要な環境の整備【推進計画】			
7	(新)仕事と子育ての両立等の研修に係るアドバイザー派遣先や研修受講者の意識変容率	—	70%以上
8	(新)男性県職員の育児休業取得率	22.5%	30%
9	男性県職員の育児のための休暇取得率	42.5%	100%
10	保育所等の待機児童数	94人	0人 (2020年度末)
11	認定こども園設置数	46箇所	75箇所
12	放課後児童クラブ登録児童数(年間)	7,360人	9,000人
13	(新)ファミリー・サポート・センターにおける 病児・病後児預かりに取り組むための講習会修了者数(年間)	—	30名
主要課題3 多様な働き方の創出による女性の活躍推進【推進計画】			
14	(新)テレワークセミナーの開催件数(年間)	—	30件
15	(新)コワーキングスペース利用者数の拡大(年間)	1,500人	3,000人
16	県内でテレワークを実施する事業所数(トライアル実施を含む)(累計)	52事業所	120事業所
主要課題4 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大			
17	(新)「とくしまフューチャーアカデミー」修了者数(累計)	—	100人
18	(新)女性農業リーダー(指導・青年農業士、農業委員、JA役員等)の割合	11.4%	20.0%
19	県審議会等委員に占める女性の割合	54.6%	57%
20	県職員の女性管理職の割合	10.2%	16.0%
主要課題5 女性に対するあらゆる暴力の根絶			
21	(新)「DV被害者自立支援サポート事業」による助成件数(累計)	30件	45件
22	(新)性暴力被害者回復支援に係る研修受講者数(累計)	—	170人
23	「デートDVサポーター」数(累計)	12,549人	23,800人
24	警察官に占める女性の割合	7.4%	10.0%

番号	指 標 名	現 況 値 (2017年)	目 標 値 (2022年)
主要課題6 生涯にわたる健康づくりへの支援			
25	(新)成人の週1回以上のスポーツ実施率	51.8%	65.0%
26	(新)徳島県の自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)	16.4	13.0以下 (13.0以下を継続)
27	妊娠・出産等に関する研修会の参加人数(累計)	986人	2,086人
主要課題7 生活上の困難を抱える女性等への支援			
28	(新)子どもの未来応援コーディネーター養成研修終了者数(累計)	20人	110人
29	(新)子ども・若者支援地域協議会及び支援者養成講習参加者数(年間)	211人	250人
30	「ホームフレンド」新規派遣回数(年間)	53回	100回
主要課題8 高齢者・障がい者・外国人等が安心して暮らせる環境の整備			
31	(新)認知症サポーター養成数(累計)	75,949人	110,000人
32	(新)モデル事業による「介護助手」雇用施設数(累計)	12施設	125施設
33	(新)県立特別支援学校高等部卒業生のうち、就職を希望する生徒の就職率	100%	100%
34	(新)「とくしま共に生きるフェスタ(仮称)」の開催	—	開催
35	(新)とくしま人権ネットモニター数(累計)	—	100人
36	民間企業の障がい者雇用率	2.17%	2.30%
37	とくしま外国人支援ボランティア登録者数	303人	390人
主要課題9 男女共同参画の推進に向けた意識啓発の推進			
38	(新)男女協調「週間」から「月間」へ拡大	—	拡大
39	「男女共同参画社会」という用語の周知度	92.9%	100%
40	男女の地位が平等だと思う人の割合(6分野の平均)	27.4%	50%
主要課題10 男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実			
41	(新)講演会等の参加により人権問題への関心・理解が深まった人の割合	—	80%以上
42	(新)「フレアキャンパス」受講による実践的活動への参加意欲向上度	72%	80%以上
主要課題11 地域社会における男女共同参画の推進			
43	(新)「エコみらいとくしま」で実施する実践活動の回数(累計)	40回	100回
44	「フレアキャンパス」の地域出前講座数(累計)	271件	400件
45	「男女共同参画立県とくしまづくり表彰」における団体等の表彰件数(累計)	25件	40件
主要課題12 男女共同参画の視点に立った防災・減災活動の推進			
46	(新)外国人向け防災研修会参加人数(年間)	195人	245人
47	(新)スフィア・プロジェクト(人道憲章と人道対応に関する最低基準)研修の参加者数(年間)	—	100人
48	「県防災会議」の女性委員の割合	48.8%	50%以上